



別海町立西春別小学校 学校だより

からまつ No. 20

平成28年2月15日発行 発行責任者 校長 野口 泰秀

学校評価の結果から ー生活習慣の徹底ー

校長 野口 泰秀

前回の学校だよりで2学期末の学校評価の結果をお知らせいたしました。保護者の皆様には、少しではありますが、1学期よりもよくなってきているという評価をいただきました。課題となるところは一步一步改善させていきたいところです。

さて、『早寝・早おき・朝ごはん』ができています。』という項目がありますが、1学期も2学期もお子さんの評価が高くなっていないことが気になります。お子さんの学力や健康について考えたときに、生活習慣の定着は大切な項目であると考えます。あわせて、学校評価の項目にはないのですが、生活習慣の一つとしてメディアの活用が気になります。実際に、多くの地域でテレビ、ゲーム、インターネット等への依存が社会的な問題にもなっています。

日本小児科医会の提言に以下の内容があります。(一部抜粋)

- ①すべてのメディア(テレビ・ビデオ・ゲーム・音楽など)へ接触する総時間を制限することが重要です。1日2時間までを目安と考えます。テレビゲームは1日30分までを目安として考えます。
- ②保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。

現代社会において、メディアの各種機器とシステムは急速な勢いで発展し普及してきました。もちろん、メディアがもたらすメリットもあります。しかしながら、成長過程にある子どもたちが長時間メディアに接することによる影響は心配されています。

各ご家庭におかれましても、お子さんの心身の成長を考え、生活習慣の徹底を図るために、メディアの上手な使い方について話し合い、ルールなどを決めていくことが望ましいことだと思います。

こんな子に育てたい③『忘れ物をしない子は・・・』

大人社会の中でよく「あの人は仕事ができる人だ!」などということを知ることがあります。これは、【仕事ができる=能力を発揮している】と捉えることができます。逆にどんなに素晴らしい能力をもっていても発揮していなければ、仕事ができるとは思ってもらえないものです。さて、仕事がよくできる人が心がけることに【段取り】があるようです。それがしっかりとできていれば、仕事の半分が終わったと考えられます。つまり、物事の成功は「準備」の仕方にあるのです。

子どもの場合も同じで、たとえば、学習用具の準備は翌日の勉強が心配なくできるための大切なことです。特に、

- ①前日に準備する
- ②時間割をよく見て準備する



という生活習慣は小学校1年生から身につけておきたいものです。

ところで、「時間割をよく見て」というのは学習用具の準備だけをさすものではありません。「明日の勉強を楽しみにする」関心・意欲につながりますし、「明日の予定がわかる」という安心感も生まれます。このようなことから、忘れ物をしない子どもの方が忘れ癖のある子どもに比べて能力を発揮できると言われています。

子どもは全て素晴らしい能力をもっているものです。「準備」がしっかりとできていないお子さんは、能力を発揮できるように今日からいい習慣づけをしてほしいと思います。

租税教室

先月の27日（水）、釧路の財務事務所の職員の方にお越しいただき、5・6年生を対象とした租税教室が行われました。

授業では、税金のない世界をあらわしたビデオを見せてもらいながら、私たちの生活にとって税金が様々な場面で役立てられていることをわかりやすく教えてくれました。「道路を通るのにも通行料がかかること」や「ごみが回収してもらえなくなること」、「警察にお願いするときに料金がかかること」などを知り、ふだん当たり前に受け止めていることが税金で成り立っていることなどを具体的に知ることができました。



スケート記録会

2日（火）、スケート記録会が行われました。

運営委員会の保護者の皆様のおかげで最高のコンディションに仕上がったリンクとあたたかな日差しのもと、記録会に臨むことができました。

学年ごとに、100mから500mの距離を、自己記録更新を目指して駆け抜けました。

リンクサイドには保護者の皆様をはじめ、地域の方々、保育園の皆様にお越しいただき、たくさんのご声援をいただきました。ありがとうございます。



節分集会

3日（水）、代表委員会の企画による節分集会を行いました。はじめに節分に関するクイズを行ったあと、自分の中から追い出したいことがらを心の中の鬼になぞらえて発表しました。「遅寝遅起き鬼を追い出したいです。」「責任から逃げる鬼を追い出します」など、一人ひとりの今年の目標を感じさせるような発表となりました。

ゲームを楽しんだ後、集会の最後は豆撒きです。新聞紙を丸めて作った豆を片手に鬼に扮した上級生を元気よく追いかけていました。



スキー学習

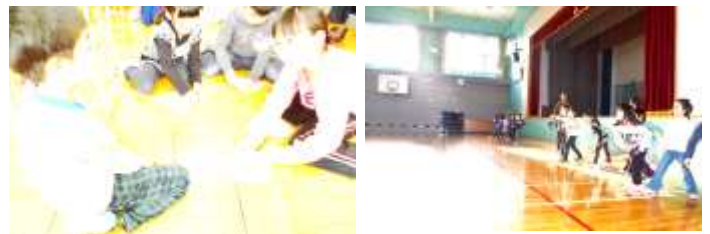
今年度は天候に恵まれ、計画していた3回のスキー学習をすべて行うことができました。初回は標津の金山スキー場へ、2、3回目は清里町の緑スキー場へでかけました。

子どもたちが新しいことを吸収する力には驚かされます。回を追うごとにみるみる上達していくのがわかります。とくに低学年の子どもたちは、初めはおっかなびっくりな様子でしたが学習が終わる頃には、どの子も笑顔にあふれ、冬場のスポーツを十分満喫できたようでした。



新入生体験入学

4日（木）、春から入学してくる新入生の体験入学があり、現1年生と一緒に図工の授業を体験してもらいました。前半は紙コップを用いた飛ぶおもちゃをつくり、後半は紙飛行機を作って体育館で飛ばしました。新年度の入学生は12名。3つの班に分かれて作業を行いましたが、1年生たちはお兄さん、お姉さんとして作り方などを教えてあげることができていました。春になって、元気に入学してくる日を楽しみにしています。



学校評議員会開催

先月29日（金）、第2回目の学校評議員会を開催いたしました。

はじめに学校から「1・2学期を通した学校評価の結果と改善に向けての取り組みについて」「新年度に向けた学校改善プランについて」の説明を行いました。そのあとの意見交流では、お集まりいただいた評議員の方から小・中の行事の合同開催についてや少年団の設置部や人数についての質疑が行われました。

話の中で、西春別小・中学校の子どもは進学してからも、当たり前のように人前で発表したりする姿勢がよく、発表等の機会が多い小規模校ならではのよさがあらわれているとのお話をいただきました。

今後も課題の改善と成果をより伸ばす取り組みに努めてまいります。